

oojana shishi-mai

大謝名の獅子舞

市指定無形民俗文化財

旧暦8月15日の10月4日(水)、
宜野湾市の大謝名区自治会で
豊年祭が行われた。獅子舞保存
会の青年らが区に伝わる厄除け
の獅子舞を披露し、三線と太鼓
に合わせて勇壮に踊る獅子舞
に観客は魅了された。



1 大謝名区十五夜・豊年祭

大謝名の獅子舞

①大謝名の獅子舞は、200年ほど前に始まり、ムラの安全祈願と厄払いの意味があると伝えられている。獅子舞をすることを「シーシ・ケーラスン」ともいう。獅子を誘い、太鼓やドラの音に合わせて独特の技を演じさせる。

拝み

②豊年祭が始まる前に保存会の有志メンバーが集まり、ムラの拝所を回る。線香・酒・供え物を持ち、これから獅子舞をすることの報告と健康祈願を行なう。⑩公民館で獅子を拝み、土帝君、③地頭火の神、メーヌカー（市指定史

跡)、クガニナー（黄金宮）、マテーシ（又吉）、クシヌカーを順番に回る。

ムラマーイ

④⑤拝所を回り終えると、次は獅子を持って公民館から出発し、太鼓と銅鑼（どら）を鳴らしながら集落内の決まったコースを歩く。途中、2～3カ所で獅子を被って四方へ魔除けの動作をする。

豊年祭

①古くから伝わる棒術の演武。
⑥⑦⑧祭りを楽しむ地域の子どもたち。
⑨⑩⑬区民による出店などで賑わう。

